

行政視察（研修）報告書

【会派名：亀井博人】

行政視察（研修）名	全国地方議会サミット 2025	
会派・参加者名	無会派（参加者：亀井博人）	
期 日	令和7年11月8日（土）～11月9日（日）	
①	日 時	11月8日（土）午後2時～9日（日）午後3時
	視察（研修）先	法政大学市ヶ谷キャンパス（東京都市ヶ谷） （人口 一人、年 月現在、面積 一km ² 、議員定数 一人）
	調査項目及び内容	<p>調査項目</p> <p>地方議会サミット 2025 の目的は、地方議会の先進事例や現状課題を共有し、議会改革の方向性を議論すること。 具体的には、SNS や AI、DX、主権者教育、議会改革に関するトピックスが中心となり、議会が進むべき方向性についての議論が行われた。また、地域住民との対話を通じて政策を創り出すことが求められている。</p> <ul style="list-style-type: none">■主 催：ローカル・マニフェスト推進連盟■後 援：全国市議会議長会、全国町村議会議長会■事務局：一般社団法人マニフェスト研究会 <p>調査概要</p> <p>●DAY1／11月8日（土）14:00～18:00 【開会挨拶】14:00～14:05 【基調講演】14:05～14:30 『『炎上の時代』の政治コミュニケーション』 廣瀬克哉 法政大学法学部政治学科教授</p> <p>【SNS と地方議会】14:30～15:45 『『民意』はどのようにできていくのか？ SNS の影響と地方議会の方向性』 SNS が政治参加のハードルを下げ、市民の声がより直接的に可視化される一方で、過激な意見や偏った情報が拡散されやすく、真の「民意」とは何か問われる時代になっている。そこで、SNS による政策や議会運営への影響や、真の民意はどこにあるかの現状分析・事例検証・問題提起から、今後の地方議会の方向性を議論する。</p> <p>大森翔子 法政大学社会学部メディア社会学科准教授</p>

「SNS が有権者に与える影響」

米重克洋 株式会社 JX 通信社代表取締役

「インフレとメディアシフトが起こす 日本政治の地殻変動」
(コーディネーター)

廣瀬克哉 法政大学法学部政治学科教授

【AI と地方議会】 16:00～17:20

「活性化？不要？AI で議会・議員はどう変わる？ 世界と日本の今と未来」

生成 AI をはじめとする急速なテクノロジーの進化が、社会構造や行政運営のあり方を大きく変えつつある。AI の進化で地方議会、地方議員の活動は変わるのでしょうか。AI に任せれば不要とされてしまうのか、それとも、活用していくのかが問われている。そこで、AI の世界的な状況と日本での今後の活用の可能性、そして、地方議会が取り組むべきことを議論する。

高選圭 福島学院大学地域マネジメント学科教授

河村和徳 拓殖大学政経学部教授

【最新議会改革】 17:30～17:55

「議会改革のトレンドと注目議会 ～地域経営のための議会改革度調査から～」

山内健輔 早稲田大学デモクラシー創造研究所招聘研究員

【1 日目総括】 17:55～18:00

※終了後、18:30～意見交換会

(別途会費制：参加費 4,000 円程度／当日現金払いのみ)

●DAY2／11 月 9 日（日） 10:00～15:00

【地方議会の政策づくり】 10:00～11:10

「実践編① ～子ども・若者との政策づくり～」

こども基本法が施行され地方公共団体には子ども・若者の意見を聴き政策づくりへ反映することが求められている。三議長会では住民とこどもたちへ主権者教育を進めている。どちらも、執行機関はすでに実施している事例が増えていますが、二元代表制の一翼である議会の現状はいかがでしょうか？先進事例を報告していただき、今後の議会の方向性、可能性を議論。

田口裕斗 NPO 法人 DAKKO 理事

「議員との対話で 民主主義の担い手を育てる」

勝山祥 富士見市議会議長

「富士高生の主張 in 富士見市議会」
笹田卓 浜田市議会副議長（前議長）

「主権者教育につながるこどもの意見の施策反映」
（コーディネーター）林紀行 日本大学法学部教授/早稲田大デ
モクラシー創造研究所招聘研究員

【地方議会の政策づくり】 11:20～12:30

「実践編② ～議会による政策づくり～」

AI の導入が進む一方で、「AI に任せるだけでは見えない現場
の声」や「地域のリアルな課題解決力」がこれまで以上に重要
になっています。そこで、住民と対話をし、議会自らが調査・
議論し、政策を形にして成果を出すサイクルを実践している先
進的な議会から実践報告。議会による政策づくりの課題と解決
策、これからの方向性を議論する。

勝浦伸行 一関市議会議長

『政策提言等の実施に関する指針』の策定と実践」

高橋英昭 横須賀市議会 政策検討会議委員長

「政策形成サイクルの実践と事例紹介」

外山利章 知名町議会議長

「各常任委員会による町民起点の政策提言」

（コーディネーター）

江藤俊昭 大正大学地域創生学部公共政策学科教授

【北川正恭 早稲田大学名誉教授 LM 最終講義】

分権改革とマニフェスト運動を先導してこられた北川教授に
よる【LM 最終講義】を開催。北川教授が提唱してきた二元代表
制の意義や、時代とともに変化してきた議会の存在価値を振り
返りながら、その歩みを参加者と共有。

さらに新時代に向けて、これからの議会改革の方向性、地方
議会・議員のあるべき姿、そして「善政競争」の意義について
議論が深められた。

(1) 「議会改革と北川正恭。足跡を再検証する」 13:30～14:20

江藤俊昭 大正大学地域創生学部公共政策学科教授

廣瀬克哉 法政大学法学部政治学科教授

前田隆夫 西日本新聞論説委員

（コーディネーター）

千葉茂明 公益財団法人日本生産性本部上席研究員

(2) 「LM 最終講義」 14:20～14:50

			<p>北川正恭 早稲田大学名誉教授 (3) 全体総括（閉会挨拶・記念撮影など） 14:50～15:00</p>
		<p>質 疑 意見交換 所 感</p>	<p>【質疑】【意見交換】【所感】</p> <p>会場となった法政大学市ヶ谷キャンパスの大ホールは800人収容。Zoomでの参加が多いと思われ会場内はゆったりしていた。会場内の参加者、Zoomでの参加者から時間の範囲内で質問があった。</p> <p>大ホールであり、質問に答える形式で意見交換がなされた。名簿はなかったが、夜の懇親会では北海道から九州までの参加者があった。</p> <p>「全国地方議会サミット」は1年に1度、全国の議会関係者が集い、自治の根幹である地方議会の先進事例や現状課題を共有し、生きた学びの交流を行う場。</p> <p>本年は、近年の議会動向を象徴する「SNS・AI・DX」「主権者教育」「議会改革」のトピックスを中心に、これから議会が進むべき方向性の議論がなされた。</p> <p>1日目は、AI など新たな技術が与える社会への影響から、地方議会が岐路に立っている現状について学び、最新の議会改革の状況を確認、2日目は、子どもや若者の意見を聴き、住民との対話を通してつくり出す政策改革について議論。</p> <p>各地で実践されている先進事例、専門家や学識者による講演を交え、議会改革のヒントになるプログラムを多数用意されていた。その中で、参考とし、実施に向けては他の会派議員の理解と賛同も必要である。</p>

写真等



会議室・議場